

学校経営の方針と概要「あかいつ子の教育2026」

1 学校教育目標

* さとを愛し、人を助けるために努力を重ねた「大槻俊斎先生」の志を継承する。

「あたたかく、かしこく、いきいきと、未来を拓くあかいつ子の育成」

下記の心の育成を柱に

- 自他の「個性」を尊重し、全力で挑み、認め合う心（徳）
- 他者と関わり合いながら目標に向かって、共に学び高め合う心（知）
- 自他の「命」を尊重し、できること、伸ばしたいことに**全力**で挑む心（体）
- 夢をもち、**夢の実現**に向けて努力する心（夢）

多様な人との関わり、多彩な活動の機会を保障し、未来を拓くあかいつ子の育成を目指す。

(1) 目指す児童像 『 あたたかく かしこく いきいきと 』

あたたかく

- ・ふわふわ言葉を使い、笑顔の先がけあいさつができる。
- ・自分の良さを大切にし、困った時には相談する。
- ・相手の立場に立って考え、助け、励まし、高め合う。
- ・話し合いにより、自分たちで**自慢の学校**を創る。

かしこく

- ・目標をもち**学ぶ楽しさ**と達成感をもつ。
- ・自分の考えや思いをもち、友達の良い考えや行動から学ぶ。
- ・「学年×10分+10分」**家庭学習**を習慣化する。
- ・毎週水曜日、**家庭読書**で心を豊かにする。

いきいきと

- ・向上心をもち、粘り強く挑み、やり遂げる。
- ・目標をもち、なわとび・マラソンに取り組む。
- ・靴揃えとピカピカ掃除で**心を整える**。(心あったかイートころ運動)
- ・苦手な食材も一口を心掛け**バランスの良い食事**をとる。

(2) 目指す学校像 『 集う 夢 さと 笑顔 』

多様な人との交流を通して夢を高め、「赤井のさと」と共に、成長し続ける笑顔あふれる学校

集う

- ・児童が認め合い学び合うために、学年を超えて**集う**。
- ・児童一人一人を「宝」とし、子供の幸せのために地域の方や保護者、ゲストティーチャーが**集う**。

夢

・多様な人との交流や活動から学び、「なりたい自分」「達成したい目標」等の夢をもつ。

さと

・地域の素材、人材を生かした活動の工夫により、赤井のさとを愛する心をもつ。

笑顔

・一人一人の安心できる居場所と活躍場面があり、笑顔が輝く。
・学校に集う人が皆、笑顔になる教育活動を工夫し、児童・教職員・保護者・地域・関係機関の好循環がある。

(3) 目指す教師像 『 ふかく するどく あたたかく 』
児童・保護者・同僚教師のよき模範となる、学び続ける教師

ふかく

・教育者としての深い使命感をもち、児童と共に伸びる教師

するどく

・豊かな人間性と確かな指導力をもち、研鑽に励む教師

あたたかく

・児童の可能性を引き出し、保護者に寄り添い、信頼される教師

2 学校経営の方針

日本国憲法、教育基本法、学校教育法の基本精神に則り、第2期宮城県教育振興基本計画、東部教育事務所管内学校教育の方針と重点、東松島市教育基本方針と重点目標及び家庭・地域の願いに基づき、持続可能な社会の創り手として、未来を生きる「あかいつ子」の確かな学力、豊かでたくましい心と体を育む教育を推進する。

学校教育目標の実現を目的として、歴史と伝統のある地域の教育力と融合を図り、学校運営協議会を核としたコミュニティ・スクールの下に学校・家庭・地域の三者による主体的・自律的・協同的な学校経営に努める。

(1) 方針

- ①学校・家庭・地域との協働を深めた地域と共に育つ学校づくりの推進
- ②安心して挑戦できる学級と誰一人取り残さない学校づくりによる、一人一人が大切にされる教育活動の展開
- ③「いのち」を尊び、「夢」と「志」を描いて生きる力を育む社会に開かれた教育課程の編成
- ④教育公務員としての使命感と協働実践による教育目標の具現化

学校経営方針推進のための校務分掌組織の活性化

- ・「あたたかく部」「かしこく部」「いきいきと部」のチーム制
- 教育活動の工夫
- 地域連携の推進
- 計画的効果的予算執行

教育活動の最大効果を生み出すための時間の確保

- ・水曜日全校15時下校
- ・校内研修の推進
- 山形大学森田准教授
- 探究と協同の学び
- ・働き方改革の推進
- 時間外勤務平均4.5時間

学校課題の解決を目指す次年度への連続性がある評価改善の実施

- ・教師の目から
- ・児童アンケートから
- ・保護者アンケートから
- ・C・Sや地域の声から
- ・親子奉仕作業、親子研修会

①基本軸【横】「コミュニティ・スクール～『赤井のさと』と共に育つ学校づくり～」の推進

○本年度の重点

コミュニティ・スクールによる地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりの推進と学校・家庭・地域の協同による教育力の向上

○主な取組内容

□ 「赤井小の子供は赤井地区で育てる」体制づくり

- ・ ふるさと学習や親子学習の積極的導入
(いちご・ほうれん草・ネギ・米・さつまいも等農作物の学習、防災学習、SNS 学習等)
- ・ 赤井地区の方々との連携強化
(保育所、幼稚園、市民センター、フレスコ、郵便局、花邑、渥美運輸、矢本警察署等)
- ・ 和太鼓活動、田んぼの学校、俊斎学習、安全・防災部会を柱にした伝統形成
(教え合い、収穫祭、ジョブカフェ、自転車教室等)
- ・ ボランティア団体との連携
(学習支援、見守り、読み聞かせ、田んぼの学校、おやじの会、eおっかあの会、赤井いぶき太鼓保存会等)
- ・ 15年間を見据えた第二学区学校運営協議会の実施

②基本軸【縦】「幼保・小・中連携～目指す15歳の姿を見通した小学校づくり～」の推進

○本年度の重点

正しい判断力と行動力、友達と頑張る協同の力の育成

○主な取組内容

□ 全ての児童に「出番」「役割」「承認」の用意し、幼保小と幼児児童生徒・保護者が同じ方向に向かえる体制を作る（自己有用感・自己肯定感、レジリエンスの育成）

- ・ 全力で挑める学校行事の用意
- ・ 隔週打ち合わせで全校児童について情報共有
(スズキ校務の活用。情報の累積と支援体制の構築)
- ・ 年二回の保護者面談
(7月：新年度の期待や悩み等、3月：1年間の成長と進学進級に向けた悩み等)
- ・ ねらいを明確にした小小連携
(小6は学校の枠を超えた3校合同の活動を積極的に推進。児童も教師も協同する。)
5月：中総体壮行式見学→合同合唱曲の選定
9月：部活動見学→合同合唱曲の練習
3月：もう中デー→合同合唱曲の発表

(3) 方針の可視化

- 学校だより、ホームページ、マチコミメール、学級懇談会や学校説明会等、家庭・地域への確に情報を発信し説明責任を果たす。
- 保護者や地域の声を傾聴し学校運営に生かす。
- 教育活動を参観できる機会を増やし、個別面談を年に二回行う。
- 家庭と学校が両輪となるように、学年PTAや親子奉仕作業や親子研修会で気持ちを一つにしていく。

4 教育目標具現化への各学年部目標

児童像		学 年 部 目 標		
		1・2年	3・4年	5・6年
あたたかく	自分や友達の個性を尊重し、認め合う	元気なあいさつをする。 ふわふわ言葉で話す。	先がけあいさつをする。 友達の良さを認め、協力して過ごす。	場に応じた挨拶をする。 学校のリーダーとして、下級生や友達を支え、活躍をする。
かしく	自分の考えや思いをもち、共に学び高め合う	自分の思いや考えをしっかりと話す。 毎月10冊読書をする。	友達の話をよく聞き、自分の考えを深める。 毎月5冊読書をする。	自分の考えに根拠を添えて話し、友達の考えと比較して聞く。 幅広い内容の本に触れ、毎月5冊読書をする。
くせくせ	できること伸ばしたいことに、全力で挑む	外で元気に遊ぶ。 最後まで諦めずにやり抜く。	進んで体を鍛える。 目標達成に向かって継続して取り組む。	心身を鍛え、自己ベストを目指す。 目標達成のために取組を工夫し協力して成し遂げる。

5 特色ある教育活動

赤井小学校の特色ある教育活動 (アカイ5)

『和太鼓活動』

『大槻俊斎学習カリキュラム』

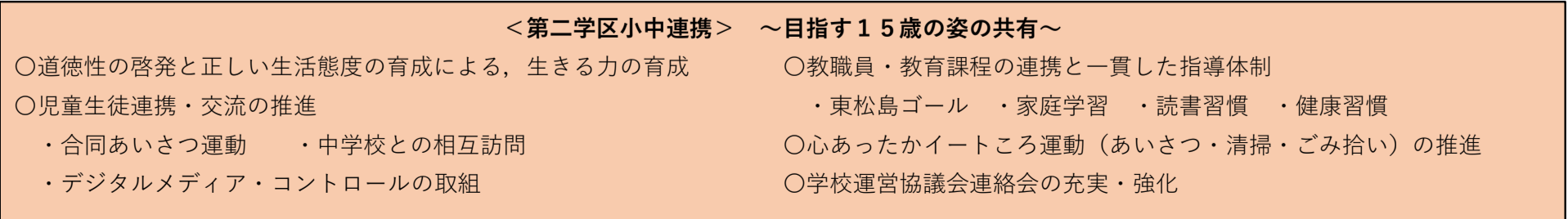
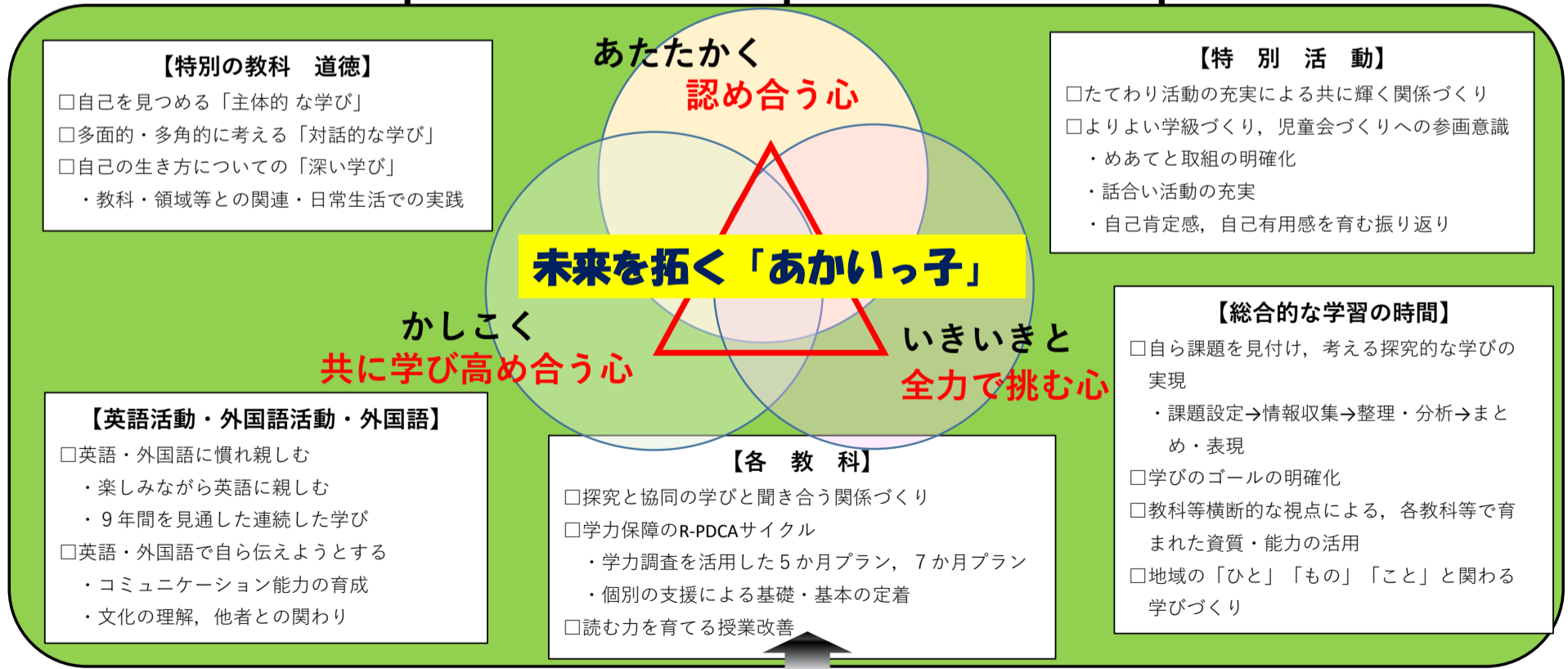
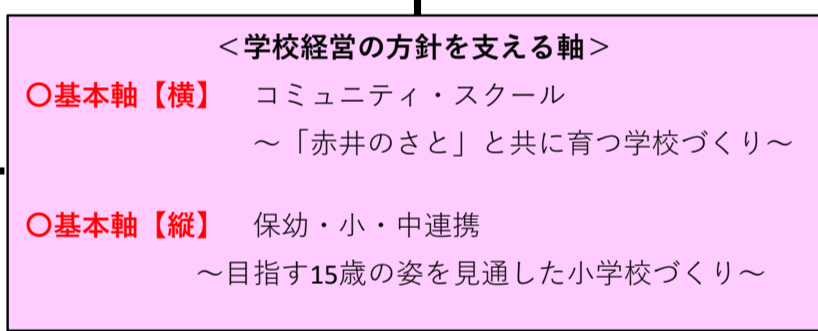
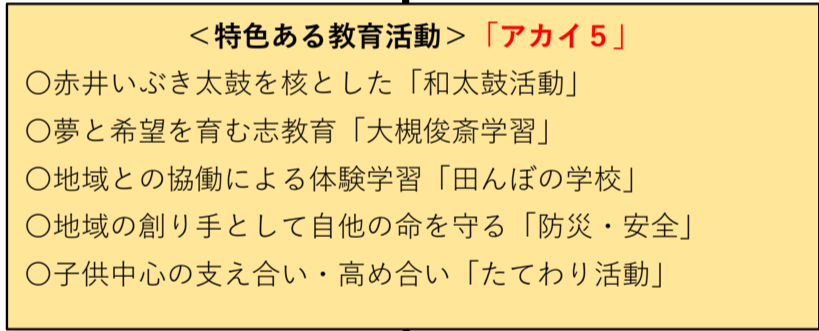
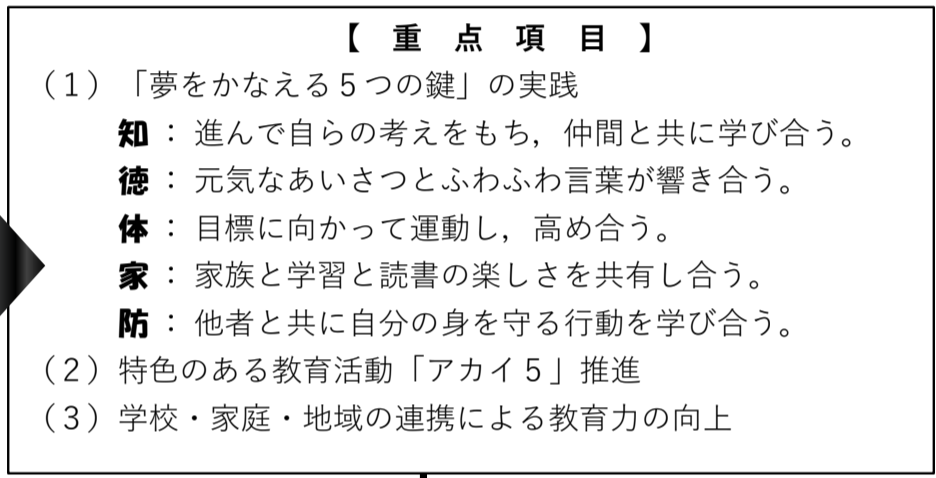
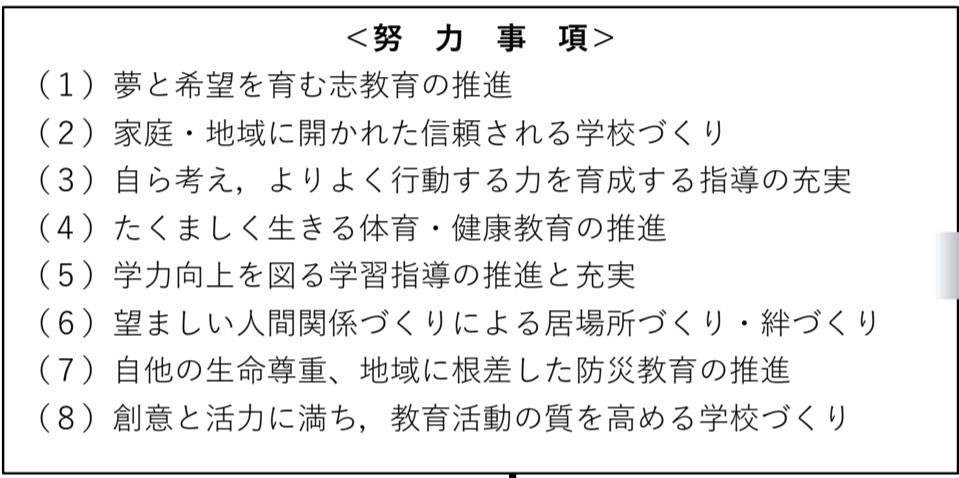
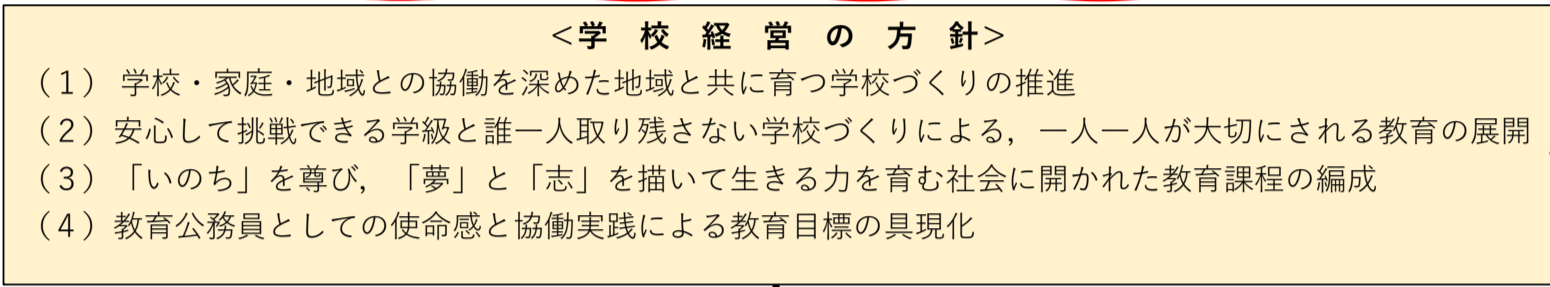
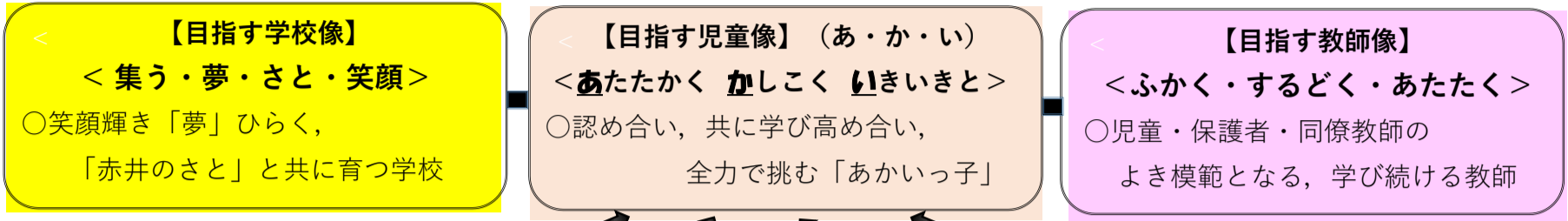
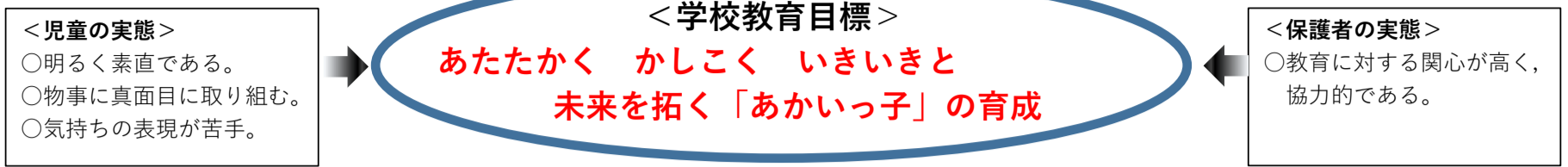
『田んぼの学校』

『防災・安全』

『家庭との連携』

- (1) 創作太鼓「赤井いぶき太鼓」を核とした「和太鼓活動」
地区夏祭り、オール赤井祭り、東松島市秋まつり、とっておきの音楽祭、和太鼓発表会
- (2) 夢と希望を育む志教育「大槻俊斎学習カリキュラム」
大槻俊斎集会、俊斎月間、ジョブカフェ、野口英世学習
- (3) 地域との協働による体験学習「田んぼの学校」・「収穫祭」
バケツ稲、田植え、稲刈り、収穫祭（おふかし・豚汁）
- (4) 赤井のさとを守り、地域の創り手として自他の命を守る「防災・安全学習」
防災タイムの学習、避難訓練、ショート避難訓練、地域避難訓練
- (5) 子供を中心に支え合い、高め合う好循環を生む「家庭との連携」
親子奉仕作業（校庭の草取り）、親子研修会（7月親子ワークショップ）、学年PTA

【2026 赤井小学校・学校教育の全体構想】



重点項目	知	徳	体	家庭との連携	防災教育
目標	<p>1 進んで学習している。 達成数値目標 <u>95%</u></p> <p>2 国語、算数の学習が分かる。 達成数値目標 <u>国95%、算95%</u></p> <p>3 進んで読書している。 達成数値目標 <u>85%</u></p>	<p>4 いつも元気にあいさつしている。 達成数値目標 <u>93%</u></p> <p>5 進んで掃除やごみ拾いをしている。 達成数値目標 <u>90%</u></p> <p>6 夢やめあてを持って生活している。 達成数値目標 <u>92%</u></p>	<p>7 進んで運動している。 達成数値目標 <u>85%</u></p> <p>8 毎日同じ位の時間に寝ている。 達成数値目標 <u>93%</u></p>	<p>9 テレビやゲームの時間を決めて、長時間にならないようにしている。 ※テレビ等の視聴時間やゲーム等の使用時間の目安は、<u>どちらも1時間以内</u> 達成数値目標 <u>60%</u></p> <p>10 家庭学習の時間を決めて、毎日、取り組んでいる。 達成数値目標 <u>95%</u></p>	<p>11 災害にに応じて、自分の命を守るための適切な行動が取れる。 達成数値目標 <u>95%</u></p> <p>※ 数値目標は、全校児童のアンケート回答の「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」を合わせたものをパーセンテージで表した。 アンケートは、2025年度6月、11月、2月に実施する予定である。</p>
具体の施策	<ul style="list-style-type: none"> ○協同的な学びの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究「算数科」 ・学力向上5か月プラン、7か月プランの実施+ ○読書の推進・図書館教育 <ul style="list-style-type: none"> ・水曜日は家庭読書タイム ○ICT活用 ○チャレンジ問題等活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「心あったかイトころ運動」推進 ○あいさつ運動 <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同 ・下学年との交流 ○無言清掃、クリーンタイム ○たてわり活動の活性化 ○小中・小小・保幼小連携 ○俊斎月間 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストの結果を生かした授業づくり ○運動習慣の形成 (8460チャレンジ、なわとびカード) ○外遊びの奨励(たてわり遊び、学級の時間) ○徒歩通学の奨励 ○はやね・はやおき・朝ごはん 	<ul style="list-style-type: none"> ○でめこんの日常化(でめこんウィーク、児童会) <ul style="list-style-type: none"> ・親子研修会(7月) ○家庭学習のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・手引き(改訂版)活用 ・自学ノート紹介 ・AIドリルによる個性化 ○二者面談 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波、火災、原発事故、不審者等を想定 ○合同引渡し訓練の実施 ○年間を通した防災タイム ○CS、PTA との合同点検、防災訓練視察 ○市・地域防災との連携
あかいつ子の夢をかなえるための学校づくり	赤井小学校の特色ある教育 (アカイ5)				
	<p>「和太鼓活動」</p> <p>全校児童が和太鼓の演奏を通して表現力や豊かな感性、協働の精神を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5・6年 赤井いぶき太鼓 ○3・4年 ぶち合わせ太鼓 ○1・2年 豊年太鼓 ○市や地域行事出演(6年) ○和太鼓発表会、引継ぎ式 	<p>「大槻俊斎学習カリキュラム」</p> <p>志教育副読本「大槻俊斎」等を活用し夢や目標に向かって努力し、地域を愛する心と態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○俊斎月間(12月) ○俊斎授業(道徳・国語等) ○俊斎集会、俊斎発表会(6年) ○ジョブカフェ 	<p>「田んぼの学校」</p> <p>地域を先生として米の栽培活動を体験し、自然を敬い食に関心を持ち、地域の産業を知る態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域講師の活用 ○田植え、稲刈り、脱穀(5年) ○野菜の栽培活動(他学年) ○ボランティア感謝の会 ○PTAと連携した収穫祭 	<p>「たてわり活動」</p> <p>異年齢集団による活動を通して、認め合い、支え合う態度や、よりよい学校づくりへの参画意識を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あかいつ子フェスティバル ○各種集会活動 ○運動会等の行事でのメッセージ交換 	<p>「防災・安全」</p> <p>東松島市民として持続可能な社会の創り手となる態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練等防災学習 ○SDGS教育 ○国際理解教育(全学年) ○総合的な学習の時間における探究学習
	基本軸【横】 「コミュニティ・スクール～「赤井のさと」と共に育つ学校づくり～」の推進				
	<p>1 本年度の重点 <u>コミュニティ・スクールによる地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりの推進と学校・家庭・地域の教育力の向上</u></p> <p>2 主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「赤井小の子供は赤井地区で育てる」体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習、親子学習の積極的導入 ・赤井地区との連携強化(市民センター、郵便局、警察署、フレスコ、花邑、渥美運輸等) ・C.S部会の活性化「和太鼓部会」「大槻俊斎学習」「田んぼの学校」「安全・防災」 ・第二学区学校運営協議会での連携 				
	基本軸【縦】 「保幼・小・中連携～目指す15歳の姿を見通した小学校づくり～」の推進				
	<p>1 本年度の重点 <u>正しい判断力と行動力、友達と頑張る協同の力の育成</u></p> <p>2 主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての児童に「出番」「役割」「承認」の用意 <ul style="list-style-type: none"> ・全力で挑める学校行事の用意 ・隔週打ち合わせで全校児童について情報共有 ・幼保施設との連携(交流参観、意見交換等) ・ねらいを明確にした小小連携(小4から計画的な連携活動、小6では学校の枠を外す。中学校からの乗り入れ授業。) <p>※学校だより等の発行、学校ホームページ、学校説明会等、家庭・地域への情報を発信し説明責任を果たす。</p>				